

若いけど！

Vol. 16 / 2017年11月06日発行

おばちゃん通信



【上地市長の所信表明に対する代表質問】

上地市長になり、自身が今後こういった方向性で市政を進めていくのか、所信表明演説が行われました。そしてそれに対する代表質問を、無所属みらいからは団長の永井議員が行いました。多岐に渡り質問をしましたが、今後も掘り下げていきたい部分を紹介します。

問) 小児医療費助成が中学校三年生まで拡大され、更に所得制限も撤廃されることに伴う概算見込みは？財源は？

答) 扶助費は2億6千万円増える見込み。あらゆる行財政改革で財源を捻出する。

問) 現行の施設配置適正化計画を凍結することだが、ゼロベースでの見直しか。

答) 今までに出している施設の改修時期は活かしていく。新たな戦略的プランを来年度には立てたい。

問) 本市の財政状況についての認識と、どのように“積極投資”する市に転換するのか伺う。

答) 現在は財源不足。財政調整基金(貯金)の取り崩しも必要。国や県からのあらゆる財源を確保すると同時に行財政改革を行う。また受益者負担の検討、企業会計への繰り出し見直し、管理経費の縮小などで財源を確保していく。

☆放課後児童クラブ(学童クラブ)助成事業における補助金交付決定の取り消しについて



学童クラブはその運営において要件を満たしている際に、国、県、市から補助金を受けることができます。この度、市内のある学童クラブが職員の配置基準やクラブ児童数を満たしていないことが発覚し、平成28年度分の補助金全額を返還することが決定されました。しかしこの学童クラブに対して、平成29年度は「補助金交付要件を満たしている」ということで、補助金が交付されました。この対応に対し、委員会内で“なぜ前年度に不正受給をしているのに、罰則もなく、今年度は補助金が交付されるのか”等、質疑が集中しました。現在の補助金交付要綱には「不正受給」に対しての規定はなく、学童クラブへの監査は2年に一度となっています。こども育成部は、今後同様の件が起こらないよう、学童クラブからの相談を受け、支援する体制を整えると共に、制度の検討も行っていく、と答弁しています。

学童クラブに関しては、その多くが保護者運営である、利用料が高い、学校内に入ることができないでいる、等様々な課題があります。現在”放課後児童対策事業計画検討部会”が開かれています。私は今ある制度(学童、わいわいスクール、放課後子ども教室)の枠を超えて、子どもたちの放課後に必要なものは何かを考え、放課後の児童の居場所を考えていく必要があると思います。

【一般質問報告】私が今回行った質問の一部を報告します。

問) 市長選挙投票日に呼びかけの放送が入らなかった理由は？今後の選挙啓発放送は？

答) (選挙管理委員会事務局長) 北朝鮮のミサイル飛来の可能性があり、緊急の放送が想定されたので、放送しなかった。市民に不安を与えないため、今後は選挙啓発における防災無線の活用は控えたい。



問) 投票率を上げるための投票所の見直しは？

答) (同上) 既存の投票所の見直しは考えていないが、平成31年度の統一地方選挙から、横須賀中央にある商業施設への期日前投票所開設について話し合いを進めている。

問) 今後地域包括ケアシステムを構築するにあたり、今市内にある高齢者の事業を行う地域包括支援センター(12か所)、母子に関する事業を行う健康福祉センター(4か所)、障害者相談サポートセンター(4か所)の施設やその機能のあり方を今後どのようにしていくつもりか。

答) (市長) これからは高齢者、障害者、児童などの分野を問わない包括的な支援及び必要なサービスの分野横断的かつ包括的な提供が求められている。本市としては今ある施設のそれぞれの専門性を発揮して連携を進めていく。今後は、現在の在宅療養連携体制を生かしながら相談や支援などがワンストップでできることを目指していきたい。



問) ワンストップということは、いずれ総合相談窓口を設置するのか。

答) (市長) そういう理解で結構である。今行政のシステムは、子どもが育っていくところをずっと見つめられるあり方はない。それをワンストップでできるところがあるように近づけるのが自治体の役割だ。

問) 今現在保育園では主食の提供がない。市長は保育園で主食を提供したいとのこと。私自身は子どもが育つ環境をつくることは大切で、社会で育てていくべきという思いを持っている。しかしどこまで市が負担するのかという議論は必要だと思っているが、いかがか。

答) (市長) 横須賀市のあり方、これからのありようを総合的に考え、優先順位をつくらせてもらって子育てが必要だと考えている。何でもかんでもやるつもりはない。

【ペーパーレス議会】横須賀市議会はペーパーレス議会を目指し、9月定例議会から試行が開始されました。議案書等が全てデータとしてあげられ、本会議や委員会に、各議員に貸与されている脱着式ノートPCの持ち込みができるようになりました。

【中学校給食の進捗】横須賀市は旧平作小学校跡地に給食センターを作る方針を固めました。給食センターで使わない部分の土地の利用に関しては、地域住民の意見も聞きつつ、今後決められるようです。

おばたさおりプロフィール

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。UCLA政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。2015年横須賀市議会議員選挙にて5625票を得て、当選。会派：無所属みらい
移動事務所：080-1161-4031またはinfo@obatasaori.com ブログも更新中です！